

専修大学校友会「執行部会」次第

1. 日 時 令和8年4月16日（木）19時00分
2. 場 所 神田校舎1号館8階 8A会議室
3. 議 題 (1) 令和7年度事業報告（案）について
(2) 令和7年度収支決算報告（案）について
(3) 校友会創立140周年記念事業検討委員会からの答申に
ついて
(4) その他
4. 諸報告 (1) 「留学生を囲む会」の開催結果について
(2) 今後の会議・行事等日程について
(3) その他

配布資料

- 1-1 令和7年度事業報告（案）
- 1-2 各部会から提出された令和7年度事業報告書
- 2-1 令和7年度一般会計収支決算書（案）及び特別会計収支決算書（案）
- 2-2 令和8年度一般会計収支予算書（案）及び特別会計収支予算書（案）
- 3 専修大学校友会創立140周年記念事業検討委員会の検討結果について
（答申）
- 4 令和8年度校友会・育友会共催「留学生を囲む会」開催結果について
- 5 今後の会議・行事等日程について

以 上

令和7年度 事業報告（案）

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

○令和7年度事業の基本的な考え方について

- 1 令和7年度は、コロナ禍で停滞した校友会活動をコロナ禍前の水準に戻すことを基本としながら、新規事業を積極的に計画し、一層の活性化を図った。
- 2 校友会活動の重点事項は、従来どおりに①本部活動の強化、②支部活動の促進支援、③大学・学生への援助協力の3点を主眼として推進した。
- 3 本部活動については、主な推進事業として、「黒門倶楽部」の強化・拡大支援、「専 SHOKU NET」サイトの活用促進、校友会創立140周年（令和9年度）への準備・検討などを主な事業計画の柱として掲げており、これら事業を含めた各種取り組みにより校友会全体の活性化を目指して効果的に推進した。
なお、校友会財政基盤の源である年会費については、近年、納入者数が減少の一途にあったが、様々な増加対策を推進してきた結果、令和3年度から令和6年度までの4年連続で増加しており、令和7年度においても、引き続き増加対策を重点として推進した。
- 4 支部活動の支援については、令和5年度に改正した「支部活動支援パッケージ」の活用促進を図るとともに、支部総会等へ出来る限り校友会長をはじめとする本部役員及び親善大使を派遣するなどして、支部活動活性化への支援を積極的に行った。
- 5 大学・学生への援助協力については、大学業務への支援、学修環境整備への支援、学生生活への支援、学生の文化・スポーツ活動への支援を継続的に実施するほか、『専修大学・石巻専修大学「社会知性（Socio-Intelligence）の開発」推進募金』への支援協力を実施した。

○事業項目別報告について

I. 校友会組織の強化

1. 支部の活動支援、結成促進等

(1) 支部活動への支援（支部数）

令和8年3月31日現在

支部区分	支部数	備考
地域支部	200 (連合24含む)	*職域支部「専修大学体育会OBOG連 合会」が新設された。 *令和7年10月1日をもって、常陸鳳 会が解散した。
同窓会支部	2	
海外支部	6	
職域支部	68	
同期会支部	39	
特別支部	1	
合計	316	

(2) 支部と本部との連携強化

支部会員に校友会及び母校の活動状況が把握できる資料を送付するなど、支部活動への支援を実施した。

支部活動	支部総会等総数 125回	本部役員派遣 のべ95名
配布資料	校友会誌『鳳翼』、『ニュース専修』、『校友会年会費納入のご案内』、『校友会年会費振込用紙』、『校友会のご案内』、『専 SHOKU NET チラシ』、『専修大学グッズカタログ』、『アンケート』等	

(3) 「ネットでも繋げよう校友会」の推進

①支部ホームページの活用促進

支部活動の活性化に資するため「ネットでも繋げよう校友会」の推進・普及を図った。

具体的には、本部のホームページ（HP）内に支部単位のHPを作成し、そこにリンクを可能にすることで、支部内及び校友会内の情報伝達・交流が一層、広く・早く・活発に行え、支部活動を中心とした校友会活性化の一助になることを目的としている。

令和7年度末現在、希望した各支部の支部HP管理責任者にID・パスワードとマニュアルを渡し、運用を開始している支部は316支部中78支部である。

②「専 SHOKU NET」サイトの活用促進

令和5年11月に開設した「専 SHOKU NET」は、校友が経営する飲食店をサイト上で紹介、会員や準会員（学生）など大学関係者の利用に供することにより校友会活性化の一助とすることを目的としている。令和6年12月にはサイトをリニューアルし、視認性を高めるとともに検索方法等の改善を行い、また、掲載店は飲食店以外に飲食物に関わる通販を含む製造者、卸店、販売店にも拡大し、現在、掲載店は113店舗となった。

今後も、ワーキンググループ（リーダー：山口美代子副会長）の会合を定期的・継続的に開催するとともに、首都圏以外の大都市圏在住の校友をアドバイザーとして迎えて

エリアごとの掲載店舗情報を充実させたり、SNSでの情報発信を拡大していくなどサイトの利用者数や掲載店舗の増加を図るため、引き続き様々な取り組みを推進していく。

(4) 「支部活動支援パッケージ」の活用促進

【参考】令和5年4月1日付けで一部改正した概要

- ア) 支部総会出席者のうち来賓等を除く支部会員数に1,000円を乗じた額を支給。
- イ) 補助対象となる周年行事を5年単位とし、開催にあたり支部の予算を超える経費がかかる場合、その経費の一部について100,000円を上限に補助。
- ウ) 支部の新設又は長期間活動を停止していた支部が活動を再開する場合、100,000円を上限に補助。
- エ) 支部の新設又は再活動を近隣支部が支援協力する場合、50,000円を上限に補助。

①事務補助費の支給状況

令和7年度の事務補助費の支給と支部員参加人数の分布は以下の通り。

支部員の 参加者数	20名 以下	21名～ 40名まで	41名～ 60名まで	61名～ 80名まで	81名～ 100名まで	101名 以上	合計
対象支部数	66	19	3	3	0	1	92
支給金額 合計(円)	869,000	557,000	152,000	212,000	0	102,000	1,892,000

※事務補助費の支給対象とならない来賓等を除いた数字を記載。

②支部総会以外の支部会員全体を対象とする行事(例:研修会、親睦会、ゴルフ大会等)への事務補助費の支給

年1回に限り10,000円の事務補助費を支給できる。令和7年度は27支部に支給した。

③特別活動補助費の支給

支部設立を記念する事業(5周年単位の事業が対象)において、特別な行事(例:総会、講演会、映画会、落語会、音楽会、記念誌・パンフレットの発行・印刷、通信費等)を実施し、支部の予算を超える経費がかかる場合は、その経費の一部について原則として100,000円を上限に支援することができる。

令和7年度は、5支部(不動産建設黒門会設立15周年記念総会、足立支部設立70周年記念総会、八戸支部創立60周年記念総会、大分県支部創立75周年記念総会、葛飾支部創立15周年記念総会)に支給した。

④支部新設等活動補助費の支給

上記【参考】のウ)、エ)に記載のとおり、支部の新設又は既存支部が活動を再開(長期間活動を停止していた支部)する場合と、支部の新設又は再活動を近隣支部が支援協力する場合は、活動補助費を支給することができる。令和7年度は支給実績なし。

(5) 支部の結成促進、休眠支部の再活動支援

①専修大学体育会OB・OG連合会の設立支援

既存の任意団体である「専修大学体育会OB・OG会」(会長：笠原鐵男氏)から同会を校友会の支部組織化したい意向が示されたことから、その支援を校友会事務局が中心に行った。11月1日(土)に総会が開催され、職域支部「専修大学体育会OB・OG連合会」が設立された。

②豊島支部の再興支援

支部活動が休眠状態にある豊島支部(東京都)の再興を支援するため、校友会執行部会の組織部が対応を開始した。令和8年2月には「豊島支部再興準備委員会」が発足し、今後は「豊島支部再興委員会」と改称して活動を推進していく。

(6) 校友データの整備(ネット連絡網の整備を含む)

①郵送による住所調査

年会費未納者を対象に現住所の調査を行った。

ア) 第1回目(4月)平成1年～4年卒業(59歳～56歳)の年会費未納者8,999名に発送。

イ) 第2回目(7月)昭和46年～47年卒業(77歳～76歳)のうち、過去2年間発送対象外であった年会費未納者3,000名に発送。

ウ) 第3回目(2月)昭和51年～昭和56年卒業(72歳～67歳)のうち、過去4年間発送対象外であった年会費未納者10,000名に発送。

②SMS(ショートメッセージサービス)配信による住所調査

スマートフォンの普及、かつ卒業年数の浅い校友は在学時に携帯電話の登録がなされていることから、SMS配信による住所調査を実施した。

配信内容は以下のとおりである。

ア) 第1回配信：7月30日

送達件数：4,239件

配信対象：令和7年3月卒業生

配信内容：住所調査及び定時総会ご案内他

ランディングページ開封数：1,232件(開封率29.1%)

イ) 第2回配信：2月27日

送達件数：35,461件

送信対象：携帯電話番号判明者

配信内容：住所調査

ランディングページ開封数：8,701件(開封率24.5%)

③校友数と住所把握者数（令和8年3月31日現在）

大学	校友数	住所把握数(%)	永眠校友把握数
専修大学	305,940	/	/
石巻専修大学	14,316		
専修大学北海道短期大学	12,199		
特別会員・推薦校友等	172		
賛助会員	37		
合計	332,664	206,850 (64.4%)	11,533

備考.「住所把握率」は、「住所把握数÷(校友数－永眠校友把握数)」で算出。

2. 本部活動体制の強化

(1) 執行部会の連携強化・活動促進

執行部会は、事業計画に基づく行事を中心に一層の連携強化を図り活動しており、令和7年度は、代議員会、定時総会、グリーンカップ・ゴルフ大会、ホームカミングデー、ワイン大学、留学生を囲む会等の主要行事を推進するとともに、執行部会ごとの活動を行うなど柔軟な対応を行った。

(2) 親善大使による活性化推進

親善大使を委嘱している①元プロ野球選手・芝池 博明氏 (S44. 商業)、②りそな銀行元執行役員・横瀬 三亀夫氏 (S50. 商業)、③大相撲・阿武松親方 (元大道関・中西 健二氏) (H17. 経営)、④プロボクシング第29代WBC世界バンタム級チャンピオン・山中 慎介氏 (H17. 商業) の4名は、本部から要請により本部行事や支部総会等に出席し、講演や参加者との交流などにより、校友会活動を盛り上げている。

(3) 「専修大学校友会黒門倶楽部」への協力・支援

「黒門倶楽部」は、校友会の一層の活性化と大学への更なる支援・協力を目指すため、校友の全国的な組織として令和5年5月から設置検討が始まり、令和6年7月6日(土)に特別支部として設立された。

設立後の本格的な活動の稼働にあたり事務局機能が未整備であったため、令和7年2月、暫定的に「黒門倶楽部推進検討会」(リーダー: 桃野直樹校友会長) が置かれ、合議制による運営が行われている。推進検討会のメンバーは、校友会の副会長と執行部員を中心とした有志23名であり、統括班、庶務班、会計班、名簿管理班、広報班、支援班のいずれかに所属しながら組織的な対応を推進している。

令和7年度の活動は、3月及び5月に倶楽部員の入会募集を行ったところ、令和7年7月5日(土)の第2回総会時まで約230名の倶楽部員が集まり、約90名の倶楽部員が総

会に出席した。総会において、令和7年度は倶楽部員の勧誘と拡大に注力することが承認されている。

その後、全国の企業の社長等を中心として10月上旬には約320名、11月下旬には約1,500名、さらに令和8年2月には約900名への会員募集案内を発送し、これまでに400名を超える会員が入会した。当面の目標である加入者1,000名を達成するため校友会本部として支援していく。

なお、7月の第2回総会時を期に会費の徴収を開始しており、早期に自立した支部活動が行えるよう体制強化を図っている。

【参考】

① 黒門倶楽部の代表・副代表・顧問一覧

(代表)	今野 邦廣氏 (S38 商経経)	株式会社レスター代表取締役会長CEO
(副代表)	金子 正明氏 (S38 商経商)	メキシコシティ五輪レスリング金メダリスト
同	桃野 直樹氏 (S42 法律)	専修大学校友会会長
同	芝池 博明氏 (S44 商業)	元プロ野球選手、校友会親善大使
同	村山 正道氏 (S48 商業)	株式会社立飛ホールディングス代表取締役社長
同	横瀬三亀夫氏 (S50 商業)	元りそな銀行執行役員、校友会親善大使
同	工藤 章氏 (S51 商業)	モンテリオール五輪レスリング銅メダリスト
同	永島 敏行氏 (S54 人文)	俳優
同	浜田 靖一氏 (S55 経営)	衆議院議員
同	桂 小文治氏 (S55 商業)	落語家
同	松村 祥史氏 (S62 経営)	参議院議員
同	北川 大介氏 (H02 商業)	演歌歌手
同	木村勝千代氏 (H02 国文)	浪曲師
同	加藤 良明氏 (H03 商業)	参議院議員
同	やまもと きょうこ氏 (H03 商業)	ラテンジャズヴォーカリスト
同	小熊 慎司氏 (H04 法律)	前衆議院議員
同	長谷部 健氏 (H08 会計)	渋谷区長
同	奥下 剛光氏 (H10 商業)	衆議院議員
同	山中 慎介氏 (H17 商業)	ボクシング第29代WBC世界バンタム級チャンピオン、校友会親善大使
(顧問)	日高 義博氏 (S45 法律)	学校法人専修大学総長
同	松木 健一氏 (S48 法律)	学校法人専修大学理事長
同	馬場 杉夫氏 (H01 他大卒)	専修大学長
同	阿部 知顕氏 (S59 他大卒)	石巻専修大学長
同	稲津 久氏 (S57 商業)	元衆議院議員
同	増野 嘉昭氏 (H02 経営)	学校法人専修大学常務理事

② 黒門倶楽部推進検討会メンバー一覧

リーダー：桃野直樹校友会会長

総括班：班長=木島 博、副班長=工藤 章

庶務班：班長=水崎 保男、副班長=尾崎 孝好、班員=秋田 勉、安藤 恒弘、梅田 益男、
中澤 邦彦

会計班：班長=山口 慎一、副班長=瀧本 和男、班員 市原 浩一、荒尾 大

名簿管理班：班長=山田 徳雄、班員=林 淳一、中尾 聡

広報班：班長=上島 嗣男、班員=岡嶋 紀夫、吉橋 政幸、木村 光伸

支援班：班長=剣持 匠一、班員=村田 亙、野口 健

(4) 会議資料等のデジタル化への取り組み

会議付議事項等の事前理解の促進及び会議時間の短縮等を目的とし、対応可能なところから会議資料等のデジタル化を推進しており、執行部会については、校友会ホームページ上での資料の公開・共有を開始した。また、各種会議への出席確認や各種行事への参加申し込みについては、メールやMicrosoft社のFormsを積極的に活用しており、結果的に通信費の低減化を達成している。

(5) 校友会創立140周年への準備・検討

明治20年(1887年)に発足した専修大学校友会は、1年後の令和9年1月(2027年)に創立140周年を迎えるため、令和7年度を140周年に関する準備・検討を開始する年として位置付け、11月13日開催の会長・副会長会及び執行部会において「専修大学校友会創立140周年記念事業検討委員会」を会長・副会長会の下に設置することが承認された。

第1回委員会は、12月22日に開催され、以降、約1か月に1度のペースで委員会を開催し、各種検討を行っている。令和8年6月開催予定の代議員会において記念事業案の承認を得たのち、具体的な準備を推進していく予定である。

【参考】専修大学校友会創立140周年記念事業検討委員会委員一覧

アドバイザー 桃野 直樹 会長

委員長 木島 博 副会長(総括担当)

委員 水崎 保男 副会長(総務企画担当)、瀧本 和男 副会長(財務担当)、
山口 慎一 副会長(事業担当)、上島 嗣男 副会長(組織担当)、
山田 徳雄 副会長(文化広報担当)、私市 政夫 副会長(体育振興担当)
秋田 勉 総務企画部長、市原 浩一 財務部長、林 敏 事業部長、
橋 幸弘 組織部長、坂口 文哉 文化広報部長、岡嶋 紀夫 体育振興部長

事務局 剣持 匠一、村田 亙、野口 健

3. 準会員(在学生)への周知等

(1) 校友会の積極的PR

①校友会誌『鳳翼』を発行毎に生田・神田校舎の専用ラックに同誌を設置し、校友会の活動をはじめ校友の活躍等を紹介し、同会の活動実態についてPRに努めた。

②専修大学専用学生寮に校友会誌『鳳翼』を設置

専修大学専用学生寮(白山・生田)のそれぞれの食堂に校友会誌『鳳翼』を設置し、校友会のPRに努めた。

(2) ワイン大学の実施

令和6年度は、募集人数を20名増やして120名としたにも関わらず、多くのキャンセル待ちが生じたほど人気の企画となっているため、令和7年度は受付開始日時を事前に予告して受付を行うよう対応したところ、受付開始後45分で募集定員に達するなど人気が増すこととなった。

開催概要は以下のとおり。

- ①開催日時：令和7年11月21日（金）18時30分～
- ②開催場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」
- ③参加人数：120名
- ④対 象：準会員（専修大学の学生）、教職員、校友、育友、賛助会員
- ⑤講 師：江畑 進一氏 全日本ソムリエ連盟認定ソムリエ
- ⑥テ ー マ：「ワインの熟成とは？」

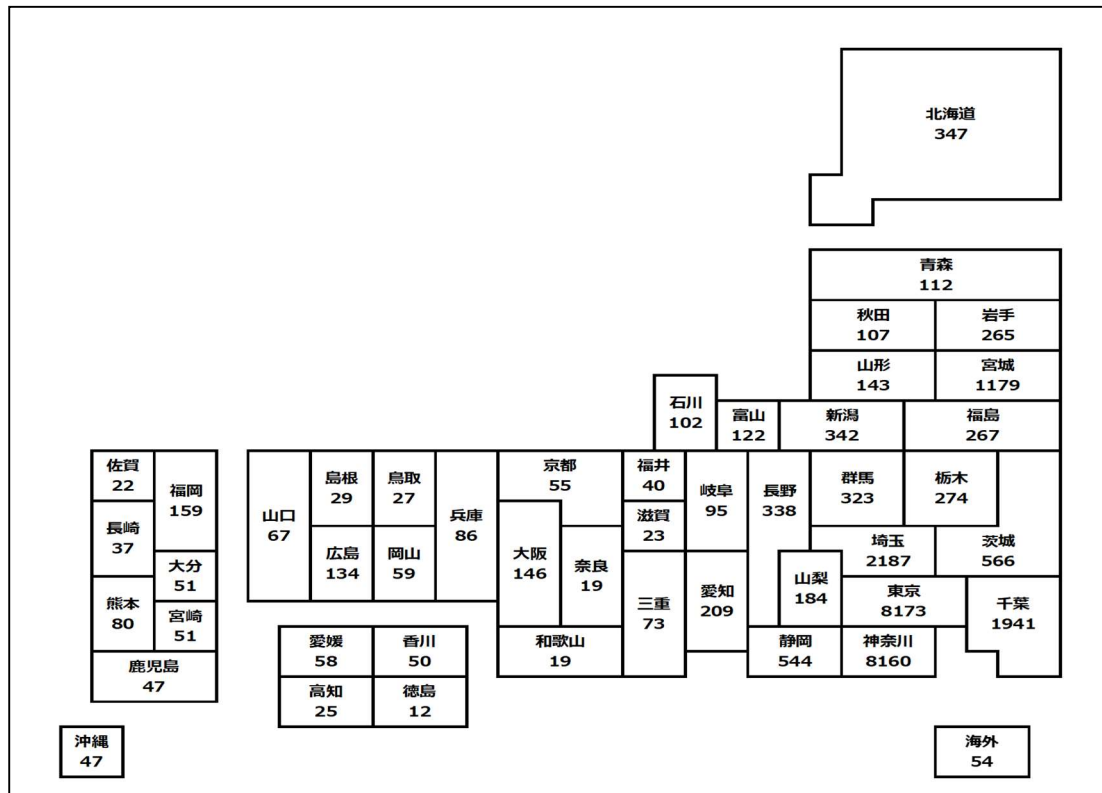
(3) 卒業生への校友会バッジ等の交付

専修大学は、令和5年度から卒業式終了後に、神田校舎において学位記交付を行うこととしたため、従来、校友会で主催していた新校友歓迎祝賀会の開催場所の確保が困難になったことから、祝賀会を行わないこととし、令和7年度も同様となった。

このため、校友会では、平成25年度から専修大学、石巻専修大学の学部卒業生及び大学院修了生に対して卒業時に配布していた「校友会バッジ」に加えて印刷物を準備し、校友会の周知と併せて新校友へ祝賀の意を表した。

II. 校友会財政基盤の強化

1. 令和7年度年会費納入者分布図



都道府県	人数	予納金	都道府県	人数	予納金	都道府県	人数	予納金
北海道	347	85	石川	102	45	岡山	59	21
青森	112	52	福井	40	18	広島	134	49
岩手	265	176	山梨	184	124	山口	67	25
宮城	1,179	1,047	長野	338	217	徳島	12	6
秋田	107	46	岐阜	95	33	香川	50	13
山形	143	101	静岡	544	362	愛媛	58	19
福島	267	159	愛知	209	106	高知	25	8
茨城	566	367	三重	73	24	福岡	159	78
栃木	274	174	滋賀	23	13	佐賀	22	7
群馬	323	237	京都	55	25	長崎	37	18
埼玉県	2,187	1,670	大阪	146	95	熊本	80	38
千葉県	1,941	1,378	兵庫	86	43	大分	51	19
東京都	8,173	6,770	奈良	19	6	宮崎	51	17
神奈川県	8,160	7,390	和歌山	19	3	鹿児島	47	23
新潟	342	185	鳥取	27	11	沖縄	47	29
富山	122	46	島根	29	5	外国	69	39
						合計	27,478	21,435

※予納金欄は、予納金を納めた卒業5年以内の者（令和3年卒～令和7年卒）の人数である。

予納金以外の年会費納入者は6,043名となり、決算書に記載の既卒者数6,017名と異なる。理由は、表中の人数には当該年度の年会費納入者数（実人数）を表していることに対して、決算書には、当該年度に納入された年会費総額を年会費で除した件数（複数年払いを含む）を計上しているため。

2. 年会費納入会員の拡大

(1) 校友会員を対象にした、年会費の納入依頼発送状況

発送件数、納入者数、納入率及び発送対象等の詳細は、以下のとおり。

発送月	発送数	納入者数	納入率
4月	8,999	114	1.27
6月	1,600	415	25.94
7月	3,000	35	1.17
10月	749	201	26.84%
11月	9,910	124	1.25%
1月	8,288	3,840	46.69%
2月	10,000	94	0.94%
合計	42,546	4,853	11.40%

発送月	趣旨	発送対象
4月	住所調査	平成1～4年卒業（59歳～56歳）の年会費未納者（8,999名）
6月	年会費のご案内	・前年度年会費納入者で今年度未納者 ・代議員、支部関係者、教職員退職者、祝電送付者、及び 専 SHOKU NET 登録者で年会費未納者（計1,600名）
7月	住所調査	昭和46年～47年卒業（77歳～76歳）のうち、過去2年間 発送対象外であった年会費未納者（3,000名）
10月	年会費のご案内	・年会費未納代議員 ・支部長及び支部事務局の年会費未納者 ・前年度年会費納入者で今年度未納者（計749名）
11月	支援募金 のお願い	・令和7年3月予納金終了の令和元年9月及び令和2年3月卒業生 ・昭和47年～51年卒業（76歳～72歳）の年会費未納者 （計9,910名）
1月	年会費の お願い	・本年度納入者で継続次年度年会費請求対象者 ・令和8年3月予納金終了の令和2年9月及び令和3年3月卒業生 （計8,288名）
2月	住所調査 年会費・募 金のお願い	昭和51年～昭和56年卒業（72歳～67歳）のうち、過去4年間年会 費未納者で、今年度未送付者（10,000名）

(2) 年会費未納「代議員」への督促について

校友会会則第14条第2項に「代議員は、自ら辞任を申し出るまではその地位に就く。ただし、年会費を納入しなかった者は、辞任したものとみなす」と規定されていることから、令和7年度の年会費を納めていない代議員に対し以下の通り催促をした。

督促発送日	締切り日	督促対象数	入金数	納入率
令和8年2月19日	令和8年3月18日	30名	12名	40.07%

※令和7年度年会費未納である代議員に対しては、校友会会則に基づき、令和8年4月1日付けで退任の通知を発送する。

(3) 住所変更の連絡に伴う年会費納入案内の送付

校友会HPの住所等変更フォームより届出が662件あった。そのうち、年会費未納の校友49名に対して、年会費納入振込用紙付校友会誌『鳳翼』と『校友会のご案内』を送付した。

(4) 専修大学カード入会者年会費自動引き落とし

専修大学カード入会者(497名)は、引き落としにより令和8年度年会費を決済した。

(5) 卒業5年目校友への翌年度年会費の継続納入の要請

平成28年度の卒業生から、校友会年会費の予納金として5年分の年会費相当額(15,000円)を事前徴収する制度の運用を行っている。

このことにより、卒業6年目以降は自主的に年会費を納入する必要が生じるため、予納金期間終了後の年会費継続納入依頼を次のとおり行った。

- ①令和7年3月予納金終了者(令和元年9月及び令和2年3月卒業)で、住所判明者2,934名に対し、令和7年11月に納入依頼文書を送付した。
- ②対象者のうち、専修大学VISAカード会員については、令和8年度から年会費自動引き落としを開始するお知らせを令和7年12月に35名へ送付し、意向確認を行った。さらに、1月には回答のなかった26名に対して再度お知らせを送付した。
- ③令和8年3月予納金終了予定者(令和2年9月及び令和3年3月卒業)で、住所判明者2,913名に対し、令和8年1月に納入依頼文書を送付した。

(6) 支部・役員等の協力及び各種行事に合わせた会費納入会員の拡大

①本部役員による依頼

今年度開催された支部総会等において、出席した本部役員から、年会費の積極的な納入を支部会員へ依頼した。

②資料配布による依頼

令和7年4月から令和8年3月末までに開催された支部総会等において、校友会本部からの配布資料とともに、年会費納入の依頼文を通算3,131枚配布し、納入の促進を図った。

③各種行事開催における年会費納入依頼

代議員会、定時総会、執行部会や幹事会において年会費納入窓口を設け、未納者に納

入を促した。

(7) 年会費納入者数が増加傾向に転向

年会費納入者数は、近年、長期に渡って毎年度減少し続けていたが、数年前から年会費納入者の増加対策を前述の(1)から(6)の内容を中心に、更に強化して推進してきた結果、令和3年度から7年度まで5年間の既卒者(予納金納入者は除く)の年会費納入者数は毎年増加を続け、約1,300名増加して6,000名を超えた。

令和8年度は、増加傾向を維持することを目標としてより積極的な対策を推進する。

3. 「専修大学カード」入会促進

(1) 会員数及び協力店数

校友の福利、校友会年会費納入の利便性と会の財政基盤強化及び校友名簿の精度向上を図ることを目的として、平成7年12月より「専修大学カード」(三井住友カード)を発行している。今年度もカード加入の促進を図るため、校友会会員及び学生会員を募った。

今年度の会員数及び協力店数は、以下のとおり。

① 会員数：928名

(令和8年3月31日現在、カード会社確認：校友会会員数〔法人役員・教職員、家族カード会員含む〕828名、学生会員数100名)

② 協力店数：155店

(2) 「専修大学カード」、「専修大学学生カード」の会員募集を実施

① 校友会誌『鳳翼』、校友会ホームページ等において随時、申し込みの呼びかけを行い、積極的に入会をアピールした。

② カード会社による入会申請専用紙の廃止に伴い、ウェブサイト入会の周知を図るため、対象別にリーフレットを作成し、在学生には留学オリエンテーション等で配布し、校友には代議員会や定時総会の出席者へ配布した。

また、入学生向けには大学オフィシャルサイトの「入学予定の皆様へ」ページにて、カードの紹介や入会専用サイトを掲載した。

オンライン入会ご案内の配布数と、新規加入会員数は以下のとおり。

	校友	在学生	合計
配布数	320通	130通	450通
新規会員数	6名	24名	30名
手数料収入			435,192円

手数料収入は、カード会社から、会員募集手数料と提携手数料が校友会に還元され、予算として執行する。

(3) 国際交流センター主催、留学オリエンテーション開催時にリーフレットを配布
国際交流事務課の協力を得て、新入留学生に対してカードの紹介を行った。

Ⅲ. 母校発展への寄与

1. 学修環境整備に係る大学・学生への支援協力

令和5年5月以降、大学の教育研究活動がコロナ禍前の状態に戻ったことから、教育活動や学生生活の充実に向けた環境をさらに整備し、充実した学生生活を送ることができるよう専修大学への500万円の支援を行った。

なお、当該支援金は、学修環境整備のための諸経費のほか、学生が利用する教育教材、各種ソフトウェアの購入費、施設充実のための改修費の一部などに充当された。

2. 大学の「社会知性の開発」推進募金への支援協力（大学各種募金への協賛キャンペーンの展開）

学校法人専修大学が展開する募金事業への協賛活動として、下表のとおり年会費納入者及びターゲットを絞り、依頼状等を定例発送物あるいは各種案内に同封して発送した。

対象	月	発送趣旨	発送対象	件数	募金活動の封入	同封物
納入者	7月	募金のお願い	年会費納入者 (予納金、募金局発送者除く)	4,491	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	ゴルフ大会ご案内 ニュース専修 鳳翼
	11月	定例・募金発送	年会費納入者 (予納金除く)	5,563	① 陸上競技部「第102回東京箱根間往復大学駅伝競走出場」及び野球部・ラグビー部へのご支援のお願い/箱根駅伝応援募金リーフレット ② 寄付申込書	ニュース専修
未納者	4月	住所調査	昭和56年～60年卒業 (66歳～62歳)の年会費未納者	8,999	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼
	7月	住所調査	昭和60年～62年卒業 (62歳～60歳)のうち、過去2年間発送対象外であった年会費未納者	3,000	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	送付状 年会費振込用紙 鳳翼
	11月	募金のお願い	令和7年3月予納金期間が終了した令和元年9月及び令和2年3月卒業	2,934	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書	年会費振込用紙
			年会費未納者 昭和47年～51年卒業 (76歳～72歳)	6,976		年会費振込用紙 校友会のご案内 鳳翼
			未納代議員・未納支部関係者	153		—
2月	住所調査 年会費・募金のお願い	昭和51年～56年卒業 (72歳～67歳)のうち、過去4年間年会費未納者で今年度未送付者	9,000	① 募金趣意書簡易版 ② 寄付申込書 ※年会費納入依頼は10,000件送付。	送付状 年会費振込用紙 鳳翼	
合 計				41,116		

3. 大学との協力・連携

育友会と共催で、大学常勤役員との懇談会を令和7年7月30日に開催した。これは、校友会及び育友会の役員等が大学の発展に一層の理解を深め、貢献できるよう大学・校友会・育友会の三者による協力・連携の強化を図ることを目的として実施した。

4. 奨学生基金による支援

当初予算の計画通り、「奨学生基金」から学校法人専修大学が行う「経済支援奨学生募金」に対して、500万円の寄付を行った。

さらに、同基金による奨学生の採用状況及び給付金額は下表のとおりとなった。

校友会奨学生	専修大学		石巻専修大学	
	採用人数	金額	採用人数	金額
経済支援奨学生 200,000円（給付）	2	400,000	4	800,000
災害見舞奨学生 100,000円（給付）	0	0	0	0
合計	2	400,000	4	800,000

5. 大学及び学生諸団体の行事・課外活動等への支援の充実

(1) 学生諸団体の行事・課外活動等への助成

学生諸団体等による課外活動の躍進によって、母校の知名度の向上が図れるよう助成を行った。

助成件数	66
助成総額（円）	20,320,000

(2) 「学生生活支援プロジェクト」の支援

専修大学の学生部は、物価高騰などで苦しい立場にある学生に経済支援を行うことを目的とした「学生生活支援プロジェクト」として、食料品や日用品等を提供する「食料品等配付」、学生食堂のメニューを特別価格で提供する「応援ランチ」、安全で清潔な飲料水が無償提供し、ペットボトルなどプラスチックごみの削減が可能な「ウォーターサーバーの導入」、そして、キャンパス内の一部トイレで生理用品が無償提供する「生理用品の提供」という4本柱のプロジェクトを実行している。

校友会は、同プロジェクトの実施にあたり、200万円の支援金を寄贈した。

令和7年度の実施状況は以下の通り。

①第1弾 食料品等の配付

第1回：4月8日（生田）、9日（神田） 1,080名分ブドウ糖飲料配布

第2回：4月25日 1,500名分 パックご飯等配布

第3回：5月7日 1,583名分 パックご飯等配布

第4回：7月10日 500名分 暑さ対策食品等配布
第5回：7月18日 804名分 暑さ対策食品等配布
第6回：12月12日 1,021名分主食（ごはん、パスタ、餅）等配布
第7回：12月18日（生田） 547名主食（ごはん、餅）等配布
第8～12回：12月11日、15日～17日、19日 合計815名分 スキンケア用品等配布

（令和3年度からこれまでに通算24回、延べ19,295名に支援）

②第2弾 応援ランチ

学食の650円相当のメニューに350円を助成し、300円で提供。

前期：5・6・7月実施 計6,000食

後期：10・11・12・1月実施 計8,857食 合計14,857食

※うち2,857食分はJASSO「物価高に対する食の支援事業助成金」を活用し、1月に実施した。

③第3弾 ウォーターサーバー導入

マイボトル持参を促進し、プラスチックごみ削減に貢献する目的で、令和6年6月から神田・生田キャンパスに順次設置。令和7年度は生田の総合体育館内に1台増設し、神田3台、生田4台となった。

利用実績：7台稼働（1台あたり約300～500回／日の利用）

④第4弾 生理用品の提供

令和6年9月からキャンパス内の一部のトイレに生理用品のディスペンサーを設置して無償提供。令和7年度は5か所増設した。

設置数：生田・神田キャンパス計13か所

利用実績：24,960枚（利用は1人1～2枚程度を想定）

※入試期間中は花王㈱の協力により、提供箇所を18か所追加し、生田・神田キャンパス合計31か所で実施した。

(3) 石巻専修大学から専修大学経営学部への国内留学生の支援

平成29年4月に締結した「専修大学経営学部と石巻専修大学経営学部との学生交流事業に関する協定書」に基づき、令和7年度の石巻専修大学経営学部から専修大学経営学部への国内留学生が2名（うち1名は派遣直前に辞退）となることが決定した。

校友会は、国内留学生に対する支援（一人あたり250,000円）を行った。

6. 野球・ラグビー・陸上等への特別支援)

(1) 野球・ラグビー・陸上への特別支援

「大学スポーツの華」として、全国の校友が最も活躍を期待している専修大学体育会「野球部」、「ラグビー部」、「陸上競技部」、石巻専修大学の「硬式野球部」及び「女子競走部」に対して、優秀な選手の獲得等を目的として、定時総会において特別支援助成金（合計600万円）を贈呈した。

7. 「スポーツ・文化振興基金」による支援

大学支援事業の一つとして、大学のスポーツ・文化活動において、優れた成績を残した団体及び個人に対し、当該活動の更なる振興を図ることにより、大学の名声を一層高めるとともに、校友会の発展にも寄与することを目的として基金を設置している。

今年度の激励金の支給状況は以下のとおりである。

(1) 専修大学

【スポーツ部門】支給総額：510,000円

- ①最優秀団体賞 1団体 (150,000円)
- ②最優秀選手賞 1名 (50,000円)
- ③最優秀新人賞 1名 (30,000円)
- ④校友会長推薦・個人 14名 (各20,000円、合計280,000円)

【文化部門】支給総額：780,000円

- ①司法試験合格者 5名 (各30,000円、合計150,000円)

※法科大学院修了直近の合格者を支給の対象者とする。ただし、試験制度の変更に伴い在学中合格者も対象とした。

- ②公認会計士試験合格者 9名 (各30,000円、合計270,000円)

※在学中合格者を支給の対象者とする。

- ③国家公務員採用総合職試験合格者 12名 (各30,000円、合計360,000円)

※在学中合格者を支給の対象者とする。

(2) 石巻専修大学

【スポーツ部門】支給総額：130,000円

- ①石巻専修大学長推薦 団体 1団体 (100,000円)
- ②石巻専修大学長推薦 個人 1名 (30,000円)

【文化部門】支給総額：50,000円

- ①石巻専修大学長推薦 団体 1団体 (50,000円)

8. 大学主催の講演会・公開講座等への協力支援

専修大学及び専修大学北上高等学校が主催する『社会知性フォーラム』（令和8年12月6日(土)に専修大学北上高等学校にて開催）の実施にあたり、校友会岩手県支部連合会が後援を行った。

9. 無料法律相談会の後援

法曹会主催（今村法律研究室・校友会後援）の無料法律相談会は、令和7年度も毎月1～2回（8月を除く）神田校舎において実施された。

3月31日までに計12回実施され、相談件数は、延べ20件であった。

IV. 総会・会議等の開催

1. 代議員会

- (1) 開催日時：令和7年6月15日（日） 11時30分～12時50分
- (2) 開催場所：神田校舎1号館3階 303教室
- (3) 出席者数：611名（出席者156名、委任状提出者455名）
- (4) 議案：①令和6年度事業報告・収支決算・監査報告について
②令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）について
③最高顧問の委嘱について
④「校友会会則」の一部改正について
⑤その他
以上、各議案を承認

2. 定時総会

- (1) 開催日時：令和7年7月5日（土） 12時00分～14時30分
- (2) 開催場所：京王プラザホテル新宿 南館5階「エミネンスホール」
- (3) 出席者数：300名
- (4) 式次第：
第一部（総会）
物故者への黙祷、校友会長挨拶、来賓祝辞、諸報告
第二部（懇親会）
村山 正道氏（S48 商業、(株)立飛ホールディングス代表取締役社長並びに
佐藤 信子専修大学育友会長による乾杯により懇親会がスタートした。
特別支援金贈呈、全學應援團リーダー公開、校歌斉唱
懇親会に出席した各界で活躍する著名人（以下参照）から挨拶をいただいた。
 - ・金子 正明氏（S38 商経商）メキシコシティ五輪レスリング金メダリスト
 - ・石橋 孝子氏（S41 商業） ティオスグループ創業者
 - ・中野 文博氏（S42 商業） マイスターバーテンダー
 - ・ボナ 植木氏（S50 人文） マジシャン、ナポレオンズ
 - ・工藤 章氏（S51 商業） モントリオール五輪レスリング銅メダリスト
 - ・永島 敏行氏（S54 人文） 俳優
 - ・桂 小文治氏（S55 商業） 落語家
 - ・黒岩 彰氏（S59 商業） カルガリー五輪スピードスケート銅メダリスト
 - ・やまもと きょうこ氏（H03 商業） ラテンジャズボーカリスト
 - ・ヒデ 氏（H06 法律） お笑い芸人、ペナルティ
 - ・立川 談修氏（H07 法律） 落語家

3. 会長・副会長会、幹事会、執行部会等

- (1) 会長・副会長会：8回開催
- (2) 幹事会：1回開催
- (3) 執行部会：3回開催
- (4) 執行部「各部会」：必要により適宜開催
- (5) 奨学生選考委員会：3回開催

4. 顧問・相談役・参与懇談会

日頃より校友会の運営について多大なる支援と協力をいただいている顧問、相談役、参与が出席し、校友会及び大学の更なる発展に資するご意見を伺うことを目的に開催した。

令和8年1月23日(金)に神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」にて開催し、ラグビー部一部昇格祝賀会を併催したところ、70名が参加した。

5. 三大学校友会同窓会連絡会

専修大学校友会、石巻専修大学同窓会、専修大学北海道短期大学同窓会の会長、副会長等による現状の理解と課題解決や相互の連携を図ることを目的に、年1回開催している。

令和7年度は、専修大学校友会と石巻専修大学同窓会による懇談会を令和8年3月19日に開催したが、三大学校友会同窓会連絡会は次年度以降も継続して開催する。

V. 会員の親睦・福祉の増進

1. 「第40回専修大学校友会グリーンカップ・ゴルフ大会」

今年度は第40回の記念大会であったため、国内屈指の名門である「小金井カントリー倶楽部」で開催した。

- (1) 開催日：令和7年10月17日(金)
- (2) 開催場所：小金井カントリー倶楽部（東京都小金井市）
- (3) 参加人数：75名

2. 「ホームカミングデー2025」

専修大学は、「専修大学ホームカミングデー」を周年事業化（原則5年に1度）して開催しているが、令和7年度は専修大学創立145周年にあたる年のため2年ぶりに開催された。

- (1) 開催日時：令和7年11月8日(土) 10時00分～15時00分
- (2) 開催場所：専修大学生田キャンパス9号館
- (3) 校友会企画：①黒門寄席
落語『阿武松』：立川 談修さん（H7. 法律）
マジックショー：ナポレオンズ ボナ植木さん（S50. 人文）
落語『田能久』：桂 小文治さん（S55. 商業）
②キャンパスツアー

3. 電報サービス（祝電・弔電）

- (1) 校友である叙勲・褒章受章者、社長就任及び公職選挙の当選者、また、様々な活躍をする校友への激励等に祝電（33件）を送った。
- (2) 弔電（3件）を送った。

VI. 広報活動の推進

1. 校友会誌『鳳翼』の発行・送付

校友会総合情報誌『鳳翼』を、令和8年3月31日までに4回（4月、7月、10月、1月）発行し、校友会をはじめ、大学の近況を伝えるとともに会員相互の交流を図ることに努めた。

2. 校友会ホームページの充実

校友会ホームページの速報性と充実に努めた。特に、イベントの告知、校友会本部・支部における行事等の報告については、随時更新した。

3. 大学発行新聞『ニュース専修』に校友関連記事掲載、送付

校友会年会費納入者に対して、大学の現況及び校友会活動の近況等を掲載した大学広報紙『ニュース専修』を9月30日までに5回（8・9月は合併号）送付した。発送には郵便料金減額制度、ゆうメール便等を使って発送料の節約に努めた。

また、支部活動時には、『ニュース専修』をはじめ『鳳翼』、「校友会のご案内」、「年会費払込用紙」等を配布することによって、校友会活動の告知・報告や母校の動向についての情報提供を積極的に行うとともに、年会費納入促進にも努めた。

VII. 育友会との協力・連携

1. 賛助会員への積極的勧誘

(1) 校友会では、令和7年4月号『鳳翼』に校友会賛助会員のご案内を掲載した。

また、育友会においても、育友会支部懇談会の開催時の資料として「専修大学校友会賛助会員制度のご案内」を4,670部作成し、配布を依頼した。

(2) 「賛助会員」の年会費納入状況（新規申込件数）

令和8年3月31日現在：納入数37件（うち、新規申込数2件）

2. 校友会・育友会連携事業推進委員会の開催

(1) 日時：令和8年3月6日

形式：書面決裁

議題：①「留学生を囲む会」の開催について

②常勤役員との懇談会の開催について

③その他

以上、令和8年度に実施する各事業の実施概要を承認した。

3. 共催事業の実施

(1) 留学生を囲む会

前年度に引き続き、国際交流事務課による「新入留学生歓迎プログラム」の一環として、「留学生を囲む会」を歓迎昼食会として実施した。

①開催日時：令和7年4月12日（土）12時45分～14時40分

②開催場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」

③参加者数：114名

（新入留学生27名、特別聴講生（交換留学生）6名、在学留学生18名、日本人学生18名、法人役員1名、教員9名、校友会関係者5名、育友会関係者6名ほか）

(2) 常勤役員との懇談会

学校法人専修大学の常勤役員（理事長、総長、学長、常勤理事、常勤監事）をお招きし、校友会及び育友会の役員との懇親会を実施した。

①開催日時：令和7年7月30日（水）18時30分～20時15分

②開催場所：神田校舎10号館16階「相馬永胤記念ホール」

③参加者数：55名

（常勤役員11名、校友会役員20名、育友会役員16名ほか）

4. 支部相互の協力・連携の推進

毎年夏に行われる育友会の支部懇談会の開催に先立ち、育友会事務局から校友会の地域支部の支部長に対し、育友会支部懇談会の開催予定が分かる資料が送付された。

今夏においても育友会支部からの要請に基づき、校友会支部役員が懇談会に出席した支部がいくつかあり、また、校友会支部総会にも育友会支部役員が出席した支部があるなど、両会の支部相互の協力・連携が図られている。

VIII. その他

1. スポーツ大会等への応援（激励会等含む）

(1) ラグビー部の一部復帰祝賀会

令和7年度は、ラグビー部が12月13日（土）に行われた関東大学ラグビー一部・二部入替戦で大東文化大学に勝利し、4年ぶりの一部復帰を果たしたことから、令和8年1月23日に一部昇格祝賀会を開催した（顧問・相談役・参与懇談会との併催）。

なお、同会では、校友会からお祝い金を授与したとともに、参加者から238,000円ものご厚志が寄せられ、大学を通じて部への支援を行った。

(2) 付属高校に対する激励金・お祝い金の授与

①専修大学松戸高等学校：第92回NHK全国学校音楽コンクール金賞受賞

②専修大学松戸高等学校：第105回全国高等学校ラグビーフットボール大会出場

③専修大学北上高等学校：第104回全国高等学校サッカー選手権大会 及び

第34回全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場

④専修大学松戸高等学校：第98回選抜高等学校野球大会出場

2. 「20 大学校友業務懇談会」の開催

校友業務全般に係る事項の意見・情報交換の場であり、主に大学で卒業生にかかわる事務を担当している職員を中心に運営されており、専修大学からは校友会本部事務局員が出席した。

(1) 開催日時：令和7年12月18日（木）

(2) 開催方法：対面

(3) 主催大学：明治大学

令和7年度 校友会本部活動報告

《本部活動報告》

R7	4/ 12	留学生を囲む会
	4/ 17	会長・副会長会
	4/ 17	執行部会
	5/ 8	令和6年度校友会監査
	5/ 14	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	5/ 23	会長・副会長会
	5/ 23	幹事会
	5/ 28	黒門倶楽部推進検討会（第二回）
	6/ 15	会長・副会長会
	6/ 15	代議員会、代議員懇親会
	7/ 5	会長・副会長会
	7/ 5	黒門倶楽部第2回総会
	7/ 5	定時総会 2025
	7/ 11	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	7/ 30	会長・副会長会
	7/ 30	常勤役員との懇談会
	9/ 1	黒門倶楽部推進検討会（第三回）
	9/ 24	専 SHOKU NET ワーキンググループ
R7	10/ 17	第40回校友会グリーンカップ・ゴルフ大会
	11/ 8	ホームカミングデー
	11/ 13	会長・副会長会
	11/ 13	執行部会
	11/ 21	第17回校友会ワイン大学
	11/ 27	校友会中間監査
	11/ 28	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	12/ 18	校友業務懇談会
	12/ 22	創立140周年記念事業検討委員会（第1回）
R8	1/ 23	会長・副会長会
	1/ 23	顧問・相談役・参与懇談会（ラグビー部1部昇格祝賀会併催）
	1/ 26	創立140周年記念事業検討委員会（第2回）
	2/ 26	専 SHOKU NET ワーキンググループ
	2/ 27	創立140周年記念事業検討委員会（第3回）
	3/ 12	会長・副会長会
	3/ 12	執行部会

備考：各執行部会の活動は必要により適宜実施されており、掲載は省略する。

令和7年度 校友会支部活動報告

《支部活動報告》

R7	4/12	村上・岩船支部 総会
	4/19	江戸川支部 バーベキュー大会
	4/25	西松建設専大会 総会
	5/24	宇摩鳳会 総会
	5/25	岐阜校友会 総会
	5/29	不動産建設黒門会 総会 設立 15 周年記念式典
	5/31	川崎支部 総会
	5/31	山形支部 東京分会設立に向けた意見交換会
	5/31	水戸支部 総会 講演会
	6/ 1	兵庫支部 総会
	6/ 6	十和田支部 総会
	6/ 7	社労士黒門会 総会 講演会
	6/ 8	三重支部 総会
	6/14	野田鳳会 総会
	6/14	秋田支部 総会
	6/21	足立支部 総会 設立 70 周年記念式典
	6/28	樂水會 総会
	6/28	八王子支部 榎崎博氏旭日小綬章受賞お祝い会
	6/28	厚木黒門会 総会
	6/28	西湘支部 総会
	6/28	富山県支部連合会 総会
	6/28	南空知・美唄支部 総会
	6/28	相模原支部 総会
	6/29	会津支部 総会
	7/ 5	黒門倶楽部 総会
	7/ 5	防府支部 総会
	7/12	筑波銀行鳳会 総会
	7/12	青森県連合会 総会
	7/12	八戸支部 総会 創立 60 周年記念講演会
	7/15	北九州支部 総会
	7/19	岡山支部 総会
	7/19	熊本県支部 総会
	7/20	愛知支部 暑気払い
	7/25	会計人会 総会
	7/25	旭川支部 総会
	7/25	釧路支部 総会

R7	7/26	青森支部 総会
	7/27	オホーツク支部 役員懇談会
	8/ 8	苫小牧支部 総会
	8/19	成田地域支部 納涼会
	8/20	城東・城北連合支部 役員会
	8/30	佐倉・四街道支部 納涼会
	9/ 4	城南支部 川崎支部 合同阿武松部屋朝稽古見学会
	9/ 5	佐藤工業専大会 総会
	9/ 5	札幌支部 総会
	9/ 6	札幌支部 親睦ゴルフコンペ
	9/ 6	江戸川支部 市川支部 合同総会
	9/ 6	九州・沖縄県連合 総会
	9/ 6	大分県支部 総会 創立 75 周年記念総会
	9/ 6	兵庫支部 淡路島鯉ツアー
	9/ 7	宮崎県支部 総会
	9/13	愛媛鳳連合会 伊予おおとり会 合同総会
	9/13	韓国同門会 総会
	9/20	中越支部黒門会 檜枝岐日帰りバス旅行
	9/20	町田支部 総会
	9/27	埼玉校友会 総会
	9/27	岩手県支部連合会 総会
	9/27	北上支部 総会
	9/27	広島支部 合宿ゴルフコンペ
	9/28	相模原支部 町田支部共催 境川クリーンアップ作戦
	10/ 4	新潟支部 総会
	10/ 4	鹿児島県支部 総会
	10/ 5	大阪府支部 総会
	10/11	警視庁支部OB同窓会 総会
	10/11	葛飾支部 創立 15 周年記念総会
	10/16	流通研究会 総会
	10/17	旭川支部 観楓会
	10/18	緑鳳学会 総会
	10/18	阿賀北支部 総会
	10/18	山形支部 総会
	10/18	広島支部 総会
	10/18	今治鳳会 総会
	10/19	北支部 総会
	10/22	専修大学学内支部 総会
	10/23	新宿支部 総会
	10/25	京都府支部 総会

R7	10/25	城南支部	総会
	10/25	函館支部	総会
	11/ 1	板橋支部	板橋史跡散策 懇親会
	11/ 3	今治鳳会	親善ソフトボール大会
	11/ 7	杉並支部	総会
	11/ 7	筑豊支部	総会
	11/ 9	静岡県支部連合会	総会
	11/15	仙台支部	総会
	11/15	佐倉・四街道支部	総会
	11/15	中越支部黒門会	総会
	11/15	墨田支部	江東支部 合同総会
	11/15	佐賀鳳会	総会
	11/15	兵庫支部	忘年会
	11/20	沖縄支部	定時総会
	11/23	奈良県支部	総会
	11/23	上越支部	総会
	11/24	石川県支部	総会
	11/28	二鳳会	総会
	11/29	津軽支部	総会
	11/29	山梨県支部	ゴルフコンペ
	11/29	山梨県支部	総会
	12/3	法曹会	総会 司法試験合格者祝賀会
	12/5	大館支部	総会
	12/8	三島鳳会	総会
	12/11	大阪府支部	忘年会
	12/12	鳥取県西部支部	総会
	12/13	一関支部	総会
	12/20	愛知支部	総会
R8	1/15	北九州支部	新年会
	1/24	東京都庁修交会	総会
	1/25	沼津支部	総会
	1/31	川崎支部	賀詞交歓会
	2/4	旭川支部	新年会
	2/5	足立支部	新年会
	2/7	野田鳳会	新年会
	2/7	伊予おとり会	南与部会 新年会
	2/7	札幌支部	新年会
	2/7	いわき黒門会	総会
	2/14	兵庫支部	和歌山新年会ツアー
	2/21	二鳳会	新年会

R8	2/22	フェニックスグリークラブ 総会
	2/26	行政書士鳳会 立春を祝う会
	2/28	千葉県支部連合会 新年会
	3/7	フェニックスグリークラブ お地蔵さんとのふれあいコンサート
	3/8	和歌山県紀北支部 総会
	3/8	江東支部 食べよう歩こう会
	3/23	桐生専大会 総会
	3/28	葛飾支部 桜を愛でる会
	3/28	城東・城北連合支部 桜を愛でる会

備考：上記は、各支部から開催案内あるいは報告が提出されたものを記載した。

以上

[別 紙]

令和7年度 事業報告

執行部会名 財務部

部 長 名 市原浩一

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和7年 4月10日	校友会応接室	7人	令和6年度決算書類作成打合せ
5月8日	6号館5階	12人	令和6年度決算監査会
11月			令和7年度中間決算書類作成メールにて打合せ
11月27日	6号館5階	12人	令和7年度中間決算監査会
令和8年 3月10日	校友会事務局	7人	令和8年度予算案検討打合せ

[別 紙]

令和7年度 事業報告

執行部会名 事業部

部長名 林 敏

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
①R7. 4. 12(土)	専修大学神田 校舎 10 号館	—	留学生を囲む会の開催及び当日運営
②R7. 7. 5(土)	京王プラザホ テル新宿	5 名	定時総会 2025 の開催及び当日運営補助
③R7. 11. 8(土)	専修大学生田 校舎 9 号館	1 名	専修大学ホームカミングデー2025 の開催 及び当日運営補助
④R7. 11. 21(金)	専修大学神田 校舎 10 号館	—	第 17 回ワイン大学の開催及び当日運営 【中止】新校友歓迎祝賀会 ※令和7年度中に開催された事業部が分 掌する校友会主催行事の実施状況及び 事業部独自の活動について記載。

[別 紙]

令和7年度 事業報告

執行部会名 組織部

部 長 名 橋 幸弘

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和7年 6月21日 11月19日	綾瀬プルミエ 北千住 きわ	8名 10名	足立支部70周年記念式典・祝賀会に参加 組織部部会を開催 組織部8名の他に、総務企画部（豊島支部）の相沢さん、中尾さんを含め10名で開催。 豊島支部の再興について意見交換し、 設立準備委員会を1月下旬から2月上旬に開催することに決定した。
令和8年 2月18日	8号館 833教室	6名	豊島支部再興準備委員会を開催 会費納入者28名（予納を除く）に開催を通知する。返信16通、出席者8名。 文化広報部より坂口さんが出席。 豊島支部再興について、全員よりコンセンサスを得ることができた。準備委員会を豊島支部再興員会に改称し、第一回再興委員会を5月20日に開催することを決議した。

[別 紙]

令和7年度 事業報告

執行部会名 文化広報部

部 長 名 坂口 文哉

会議・事業報告

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和7年			鳳翼発行業務
4月15日	校友会応接室	6名	112号 鳳翼編集会議
7月15日	校友会応接室	8名	113号 鳳翼編集会議
10月15日	校友会応接室	8名	114号 鳳翼編集会議
令和8年			
1月15日	校友会応接室	3名	115号 鳳翼編集会議

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
部会			文化関連（情報発信／行事開催）
令和7年			
4月15日	校友会応接室	6名	
10月15日	校友会応接室	8名	
鳳翼の電子化配信			→未実施／令和8年度事業として継続 鳳翼の電子化配信の準備検討を行う
オール専修の強化			→未実施／令和8年度事業として継続 鳳翼等で行く友会を紹介し、相互理解 を深めてオール専修の今日かをする

現役生への アプローチ			→未実施／令和 8 年度事業として継続 将来的に学生にとってのメンター (仕事やキャリアについて相談できる 人) づくりに寄与するための準備検討、 意見集約を行う
卒業 5 年目以降の OB に対するケア			→未実施／令和 8 年度事業として継続 校友会費を継続して納入いただくため のアイデアを出し、準備検討、意見の 集約を行う。
大学の歴史を学ぶ 講座の開催			→未実施／令和 8 年度事業として継続 専修大学の歴史、文化を学ぶ講座を 定期的に行う
専大ウォーキング の開催			→未実施／令和 8 年度事業として継続 OB 議員と巡る国会見学

開催日時	場 所	出席人数	議事・事業内容
令和 7 年			専 SHOKU NET ワーキンググループ 会議
5 月 14 日	41 ゼミ室	2 名	サイトの活用促進会議
7 月 11 日	46 ゼミ室	2 名	サイトの活用促進会議
9 月 24 日	41 ゼミ室	2 名	サイトの活用促進会議
11 月 28 日	45 ゼミ室	1 名	サイトの活用促進会議
令和 8 年			
2 月 26 日	45 ゼミ室	1 名	サイトの活用促進会議

I 令和7年度 一般会計 収支決算書(案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 会費収入	82,599,000	84,696,000	△ 2,097,000	令和7年度卒業生 4,443名×@15,000円=66,645,000円 (専修大学:4,156名 石巻専修大学:287名) 既卒者等 5,980名×@3,000円=17,940,000円 賛助会員 37名×@3,000円=111,000円 合 計 84,696,000円
第2款 入会金収入	47,000,000	47,780,000	△ 780,000	令和7年度入学生他 4,778名×@10,000円=47,780,000円
1.入学時払込金	47,000,000	47,780,000	△ 780,000	専修大学 4,470名 (定員4,000名)
2.その他払込金	0	0	0	石巻専修大学 308名 (定員 440名)
第3款 雑収入	4,460,000	4,451,682	8,318	
1.受取利息	60,000	189,061	△ 129,061	普通預金・定期預金利息
2.その他	4,400,000	4,262,621	137,379	広告料,年会費コンビニ振込手数料,校友会行事会費,寄付金,祝金他
第4款 カード手数料収入	456,000	457,192	△ 1,192	
1.会員募集手数料	46,000	22,000	24,000	入会者 20名(@1,000一般カード・学生カード)
2.提携手数料	410,000	435,192	△ 25,192	参考:利用高 226,236,255円
経常収入計	134,515,000	137,384,874	△ 2,869,874	
第5款 前年度繰越金	47,038,515	47,038,515	0	
合 計	181,553,515	184,423,389	△ 2,869,874	

《支出の部》

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 経常費	84,300,000	64,895,734	19,404,266	
1.総会費	7,500,000	6,705,499	794,501	定時総会(ホテル経費,参加者への記念品代他)
2.会議費	5,000,000	1,278,412	3,721,588	代議員会,幹事会,会長・副会長会,各種委員会他
3.事務委託費	10,000,000	10,000,000	0	本部事務委託費
4.執行部会経費	2,000,000	611,714	1,388,286	6部会費,黒門倶楽部事業費,専SHOKU NET事業費他
5.通信運搬費	33,000,000	29,198,103	3,801,897	年会費納入依頼,ニュース専修,会報誌,大学募金への支援協力他
6.印刷費	9,000,000	6,605,690	2,394,310	議案書,各種パンフレット,支部・行事関係,大学募金への支援協力他
7.備品事務用品費	800,000	458,752	341,248	事務局文房具代,OA機器消耗品代,複合機リース代,コピー代
8.慶弔費	4,000,000	2,574,417	1,425,583	祝金,弔慰金,見舞金,義援金他
9.旅費交通費	9,000,000	6,202,362	2,797,638	支部総会,会議・行事出張旅費
10.雑費	4,000,000	1,260,785	2,739,215	コンビニネット手数料,来訪者接待茶代,記念品代他
第2款 会報制作費	17,000,000	16,381,967	618,033	会報誌『鳳翼』制作費
第3款 学生活動助成金	25,000,000	20,320,000	4,680,000	
1.学生行事助成金	2,000,000	700,000	1,300,000	鳳祭実行委員会,連合県人会,学生自治会,体育会本部援助金他
2.学生援助金	17,000,000	13,620,000	3,380,000	体育会,サークル団体援助金,学修環境整備支援,国内留学支援,学生生活支援プロジェクト他
3.特別支援助成金	6,000,000	6,000,000	0	野球・ラグビー・陸上への特別支援強化費用
第4款 支部活動援助金	16,500,000	8,550,257	7,949,743	
1.支部活動援助金	13,000,000	5,694,957	7,305,043	支部総会時祝金,参加費,事務補助費,特別活動補助費,支部新設等活動補助費他
2.同窓会援助金	3,500,000	2,855,300	644,700	同窓会への援助金(石巻専修大学同窓会・北海道短期大学同窓会)
第5款 事業費	11,150,000	5,007,650	6,142,350	
1.入会促進費	1,000,000	317,790	682,210	入会案内書制作費他,カード募集案内
2.校友会主催事業費	8,000,000	2,953,235	5,046,765	グリーンカップ・ゴルフ大会,専修大学ホームカミングデー,ワイン大学,留学生を囲む会,顧問・相談役・参与懇談会他
3.卒業記念品費	2,000,000	1,716,360	283,640	卒業記念品バッジ作製代
4.校友文庫	150,000	20,265	129,735	校友著作図書購入
第6款 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
経常支出計	154,950,000	115,155,608	39,794,392	
第7款 基金積立	25,200,000	25,200,000	0	
1.校友会基金積立	15,000,000	15,000,000	0	校友会特別事業他
2.奨学生基金積立	7,500,000	7,500,000	0	校友会奨学生基金給付金,大学独自の奨学金への支援
3.スポーツ・文化振興基金積立	2,700,000	2,700,000	0	スポーツ・文化功労者への顕彰基金
支出計	180,150,000	140,355,608	39,794,392	
第8款 次年度繰越金	1,403,515	44,067,781	△ 42,664,266	
合 計	181,553,515	184,423,389	△ 2,869,874	

II

令和7年度 校友会基金特別会計 収支決算書 (案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	15,000,000	15,000,000	0	
第2款	受取利息	80,000	295,612	△ 215,612	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	140,786,054	140,786,054	0	
	収入の部 合計	155,866,054	156,081,666	△ 215,612	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	次年度繰越金	155,866,054	156,081,666	△ 215,612	
	支出の部 合計	155,866,054	156,081,666	△ 215,612	

III

令和7年度 校友会奨学生基金特別会計 収支決算書 (案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	7,500,000	7,500,000	0	
第2款	受取利息	15,000	56,411	△ 41,411	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	奨学金手数料	30,000	24,800	5,200	
第4款	前年度繰越金	26,865,729	26,865,729	0	
	収入の部 合計	34,410,729	34,446,940	△ 36,211	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	奨学費支出	10,000,000	6,200,000	3,800,000	専修大学へ支援5,000,000円, 給付金6件
第2款	次年度繰越金	24,410,729	28,246,940	△ 3,836,211	
	支出の部 合計	34,410,729	34,446,940	△ 36,211	

IV

令和7年度 校友会スポーツ・文化振興基金特別会計 収支決算書 (案)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	2,700,000	2,700,000	0	
第2款	受取利息	5,000	29,861	△ 24,861	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	14,221,484	14,221,484	0	
	収入の部 合計	16,926,484	16,951,345	△ 24,861	

《支出の部》

	科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	顕彰基金支出	2,700,000	1,470,000	1,230,000	校友会学生奨励賞奨励金46件
第2款	次年度繰越金	14,226,484	15,481,345	△ 1,254,861	
	支出の部 合計	16,926,484	16,951,345	△ 24,861	

貸借対照表(案)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

借方		貸方	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	97,725,781	流動負債	54,928,000
現金及び預金	97,725,781	前受金	53,658,000
		仮受金	1,270,000
固定資産	201,378,061	正味財産の部	244,175,842
器具備品	1,568,110	正味財産	244,175,842
校友会基金特定預金	156,081,666	(うち校友会基金)	(156,081,666)
校友会奨学生基金特定預金	28,246,940	(うち奨学生基金)	(28,246,940)
校友会スポーツ・文化振興基金特定預金	15,481,345	(うちスポーツ・文化振興基金)	(15,481,345)
資産合計	299,103,842	負債・正味財産合計	299,103,842

財産目録(案)

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	97,725,781
現金	0
郵便振替	ゆうちょ銀行東京貯金事務センター 62,964
普通預金	三井住友銀行神田支店 84,655,387
普通預金	三菱UFJ銀行神田支店 13,007,430
流動資産合計	97,725,781
固定資産	
器具備品	1,568,110
備品	カメラ一式 505,680
備品	校友会旗 320,000
	その他1件10万円未満合計 742,430
校友会基金特定預金	156,081,666
定期預金	三井住友銀行神田支店(校友会基金口) 156,081,666
校友会奨学生基金特定預金	28,246,940
定期預金	三井住友銀行神田支店(奨学金基金口) 28,246,940
校友会スポーツ・文化振興基金特定預金	15,481,345
定期預金	三井住友銀行神田支店(スポーツ・文化振興基金口) 15,481,345
固定資産合計	201,378,061
資産合計	299,103,842
負債の部	
流動負債	
前受金	令和8年度分入会金(@10,000円×4,230名) 42,300,000
前受金	令和8年度分年会費(@3,000円×3,786名) 11,358,000
仮受金	令和8年度分入学辞退者(@10,000円×127名) 1,270,000
負債合計	54,928,000
差引正味財産	244,175,842

(注:器具備品については取得価格で記載)

I 令和8年度 一般会計 収支予算書 (案)

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 会費収入	83,511,000	82,599,000	912,000	令和8年度卒業生 4,300名×@15,000円=64,500,000円 (専修大学:4,000名 石巻専修大学:300名) 既卒者等 6,300名×@3,000円=18,900,000円 賛助会員 37名×@3,000円=111,000円 合 計 83,511,000円
第2款 入会金収入	47,000,000	47,000,000	0	令和8年度入学生他 4,700名×@10,000円=47,000,000円
1.入学時払込金	47,000,000	47,000,000	0	専修大学 4,400名 (定員4,000名)
2.その他払込金	0	0	0	石巻専修大学 300名 (定員 440名)
第3款 雑収入	4,785,000	4,460,000	325,000	
1.受取利息	285,000	60,000	225,000	普通預金・定期預金利息
2.校友会主催事業	3,000,000	—	3,000,000	代議員懇親会, 定時総会, グリーンカップ・ゴルフ大会, ワイン大学, 顧問・相談役・参与懇談会会費
3.寄付金	500,000	—	500,000	校友会への寄付
4.その他	1,000,000	4,400,000	△ 3,400,000	広告料, 年会費コンビニ振込手数料, 祝金他
第4款 カード手数料収入	460,000	456,000	4,000	
1.会員募集手数料	30,000	46,000	△ 16,000	入会者 30名 (@1,000一般カード・学生カード)
2.提携手数料	430,000	410,000	20,000	参考: 利用高 226,236,255円
経常収入計	135,756,000	134,515,000	1,241,000	
第5款 前年度繰越金	44,067,781	47,038,515	△ 2,970,734	
合 計	179,823,781	181,553,515	△ 1,729,734	

《支出の部》

科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款 経常費	68,200,000	84,300,000	△ 16,100,000	
1.総会費	7,000,000	7,500,000	△ 500,000	定時総会(ホテル経費,参加者への記念品代他)
2.会議費	1,500,000	5,000,000	△ 3,500,000	代議員会, 幹事会, 会長・副会長会, 各種委員会他
3.事務委託費	10,000,000	10,000,000	0	本部事務委託費
4.執行部会経費	700,000	2,000,000	△ 1,300,000	6部会費, 専SHOKU NET事業費他
5.通信運搬費	30,000,000	33,000,000	△ 3,000,000	年会費納入依頼, ニュース専修, 会報誌, 大学募金への支援協力他
6.印刷費	7,000,000	9,000,000	△ 2,000,000	議案書, 各種パンフレット, 支部・行事関係, 大学募金への支援協力他
7.備品事務用品費	500,000	800,000	△ 300,000	事務局文房具代, OA機器消耗品代, 複合機リース代, コピー代他
8.慶弔費	3,500,000	4,000,000	△ 500,000	祝金, 弔慰金, 見舞金, 義援金他
9.旅費交通費	6,500,000	9,000,000	△ 2,500,000	支部総会, 会議・行事出張旅費
10.雑費	1,500,000	4,000,000	△ 2,500,000	コンビニネット手数料, 振込月額利用料, 来訪者接待茶代, 記念品代他
第2款 会報制作費	17,000,000	17,000,000	0	会報誌『鳳翼』制作費
第3款 学生活動助成金	32,000,000	25,000,000	7,000,000	
1.学生行事助成金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	鳳祭実行委員会, 連合県人会, 学生自治会, 体育会本部援助金他
2.学生援助金	15,000,000	17,000,000	△ 2,000,000	体育会・サークル団体援助金, 学修環境整備支援, 専門科目支援, 国内留学支援, 学生生活支援プロジェクト他
3.特別支援助成金	16,000,000	6,000,000	10,000,000	野球・ラグビー・陸上への特別支援強化費用
第4款 支部活動援助金	10,000,000	16,500,000	△ 6,500,000	
1.支部活動援助金	7,000,000	13,000,000	△ 6,000,000	支部総会時祝金, 参加費, 事務補助費, 特別活動補助費, 支部新設等活動補助費他
2.同窓会援助金	3,000,000	3,500,000	△ 500,000	同窓会への援助金(石巻専修大学同窓会・北海道短期大学同窓会)
第5款 事業費	5,900,000	11,150,000	△ 5,250,000	
1.入会促進費	350,000	1,000,000	△ 650,000	入会案内書制作費他, カード募集案内
2.校友会主催事業費	3,500,000	8,000,000	△ 4,500,000	グリーンカップ・ゴルフ大会, ワイン大学, 留学生を囲む会, 顧問・相談役・参与懇談会他
3.卒業記念品費	2,000,000	2,000,000	0	卒業記念品バッジ作製代
4.校友文庫	50,000	150,000	△ 100,000	校友著作図書購入
第6款 予備費	1,000,000	1,000,000	0	
経常支出計	134,100,000	154,950,000	△ 20,850,000	
第7款 基金積立	40,200,000	25,200,000	15,000,000	
1.校友会基金積立	35,000,000	15,000,000	20,000,000	校友会特別事業他(創立140周年記念事業経費含む)
2.奨学生基金積立	2,500,000	7,500,000	△ 5,000,000	校友会奨学生基金給付金, 大学独自の奨学金への支援
3.スポーツ・文化振興基金積立	2,700,000	2,700,000	0	スポーツ・文化功労者への顕彰基金
支出計	174,300,000	180,150,000	△ 5,850,000	
第8款 次年度繰越金	5,523,781	1,403,515	4,120,266	
合 計	179,823,781	181,553,515	△ 1,729,734	

II

令和8年度 校友会基金特別会計 収支予算書 (案)

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	35,000,000	15,000,000	20,000,000	創立140周年記念事業経費20,000,000円
第2款	受取利息	295,000	80,000	215,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	156,081,666	140,786,054	15,295,612	
	収入の部 合計	191,376,666	155,866,054	35,510,612	

《支出の部》

	科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	記念事業支出	20,000,000	—	20,000,000	創立140周年記念事業経費20,000,000円
第2款	次年度繰越金	171,376,666	155,866,054	15,510,612	
	支出の部 合計	191,376,666	155,866,054	35,510,612	

III

令和8年度 校友会奨学生基金特別会計 収支予算書 (案)

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	2,500,000	7,500,000	△ 5,000,000	
第2款	受取利息	55,000	15,000	40,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	奨学金手数料	25,000	30,000	△ 5,000	
第4款	前年度繰越金	28,246,940	26,865,729	1,381,211	
	収入の部 合計	30,826,940	34,410,729	△ 3,583,789	

《支出の部》

	科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	奨学費支出	10,000,000	10,000,000	0	経済支援奨学生4,000,000円・災害見舞奨学生1,000,000円 大学へ5,000,000円
第2款	次年度繰越金	20,826,940	24,410,729	△ 3,583,789	
	支出の部 合計	30,826,940	34,410,729	△ 3,583,789	

IV

令和8年度 校友会スポーツ・文化振興基金特別会計 収支予算書 (案)

自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日

《収入の部》

(単位:円)

	科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	一般会計よりの繰入金収入	2,700,000	2,700,000	0	
第2款	受取利息	30,000	5,000	25,000	定期預金利息(三井住友銀行神田支店)
第3款	前年度繰越金	15,481,345	14,221,484	1,259,861	
	収入の部 合計	18,211,345	16,926,484	1,284,861	

《支出の部》

	科 目	8年度予算額 (A)	7年度予算額 (B)	増減(△) (A-B)	摘 要
第1款	顕彰基金支出	2,700,000	2,700,000	0	スポーツ部門700,000円・文化部門2,000,000円
第2款	次年度繰越金	15,511,345	14,226,484	1,284,861	
	支出の部 合計	18,211,345	16,926,484	1,284,861	

令和8年4月13日

専修大学校友会

会長 桃野直樹様

専修大学校友会

創立140周年記念事業検討委員会

委員長 木島博
(押印省略)**専修大学校友会創立140周年記念事業検討委員会の検討結果について（答申）**

専修大学校友会は1887年（明治20年）1月に「専修大学同窓会」として発足し、2027年（令和9年）1月に創立140周年を迎えることから、令和7年11月13日開催の会長・副会長会及び執行部会の決議に基づき、会長・副会長会の下に当委員会が設置されました。

これまでに4回にわたり委員会を開催し、記念事業骨子案を取りまとめましたので下記のとおり答申いたします。

なお、当委員会は、答申提出後も記念事業の準備及び実施等の運営にあたり、事業完了まで活動を継続することを付言いたします。

記

1. 専修大学校友会創立140周年記念事業骨子（案） … 別紙1
2. 委員会委員一覧 … 別紙2
3. 委員会開催日 … 別紙3

以上

専修大学校友会創立140周年記念事業骨子（案）

①専修大学校友会創立140周年記念式典・講演会・祝賀会について

予定日	内容	備考
2027年7月中旬 (7/17(土)を 予定)	記念式典	功労者表彰ほか
	記念講演会	候補者選定中
	祝賀会（懇親会）	定時総会と併催

※会場は、都内ホテル（京王プラザホテル等）を予定

②事前周知事業の実施について

予定日	内容	備考
2027年1月から 3月までに開催	全国支部長会	神田校舎内
	支部長懇談会	神田16階ホール

※事前周知事業として、全国支部長会を神田校舎にて開催し、全国各地の支部から祝賀会への参加を呼び掛けていただくよう周知を行う。

③記念誌の発行について

発行予定日	内容	備考
2027. 7. 15	『鳳翼』 創立140周年記念号 ・ (仮)140年のあゆみ ・ (仮)校友会長挨拶ほか	巻頭 4 ページ程度増頁
2027. 10. 15	『鳳翼』（通常号） ・ 記念講演会記事 ・ 記念式典等報告	

※記念式典等の開催日が決定次第、『鳳翼』にて周知を行う。

④その他の事業について

予定時期	内容	備考
2027年頭から	主催事業に「創立140周年記念」を冠する	1年間を祝賀年とする
2027年秋	(仮)講演会・シンポジウム・座談会の実施 (仮)スポーツイベントの実施	記念事業実行プロジェクトチームに検討・準備を委任

⑤予算について

当該事業経費を総額2,000万円と概算し、2026年（令和8年）度予算に計上する。

なお、2026年度未実行分は、2027年度予算に繰り越して計上し、実行する。

以 上

「校友会創立140周年記念事業検討委員会」委員一覧

令和7年11月13日設置

職名	氏名	卒年	学科	備考
委員長	木島 博	昭45	法律	総括担当副会長
委員	水崎 保男	昭44	法律	総務企画部担当副会長
委員	瀧本 和男	昭53	会計	財務部担当副会長
委員	山口 慎一	昭46	商業	事業部担当副会長
委員	上島 嗣男	昭52	法律	組織部担当副会長
委員	山田 徳雄	昭52	法律	文化広報部担当副会長
委員	私市政 夫	昭35	商経経	体育振興部担当副会長
委員	秋田 勉	昭60	経済	総務企画部長
委員	市原 浩一	昭55	法律	財務部長
委員	林 敏	昭60	商業	事業部長
委員	橘 幸弘	昭55	法律	組織部長
委員	坂口 文哉	昭57	経済	文化広報部長
委員	岡嶋 紀夫	昭59	経営	体育振興部長
事務局	剣持 匠一	平09	経営	校友会事務局長
	村田 互	平02	人文	校友課長待遇
	野口 健	平04	法律	校友課長補佐

校友会創立140周年記念事業検討委員会開催報告

令和7年12月22日(月) 第1回委員会

- ・互選により、木島博委員（校友会副会長）を委員長に選出した。
- ・委員会の役割と今後の日程を確認した。
- ・次回までに各委員が事業アイデアを提出することを決定した。

令和8年1月26日(月) 第2回委員会

- ・各委員から提出された事業アイデアの内容を共有した。
- ・事業の方向性について大枠での取りまとめを行った。

令和8年2月27日(金) 第3回委員会

- ・事業案を具体策としてとりまとめ、記念事業案の骨子を確認した。
- ・記念事業の予算を概算で2,000万円とし、令和8年度予算案に計上申請することを決定した。

令和8年4月13日(月) 第4回委員会

- ・答申として提出する事業骨子（案）の内容を確認し、決定した。
- ・記念式典における表彰対象者の基準について確認した。
- ・今後の委員会の運営について確認した。

以 上

令和8年度校友会・育友会共催「留学生を囲む会」開催結果について

1. 開催日時 令和8年4月11日（土） 12:45 ～ 14:30

2. 開催場所 神田キャンパス10号館16階「相馬永胤記念ホール」

3. 参加者数 134名

- 〔内 訳〕 ①新入留学生：31名
②特別聴講生（交換留学生）：12名
③新入留学生以外の留学生：14名
④日本人学生：14名
⑤男声合唱団グリークラブ：20名
⑥法人役員：1名
⑦教員（学生部長、国際交流センター長・同委員）：11名
⑧校友会からの出席者：8名
⑨育友会からの出席者：15名
⑩国際交流事務課：8名

4. 進行内容

- ①開会 司会 育友会副会長 鈴木 明日香
②挨拶 校友会長 桃野 直樹
育友会長 佐藤 信子
学生部長 佐竹 弘靖
③学生団体紹介 中国留学生聯誼会
韓国留学生会
国際交流会「SHIP」
④写真撮影
⑤乾杯 国際交流センター長 奥村 経世
⑥懇談
⑦じゃんけん大会
⑧「男性合唱団グリークラブ」による演奏
⑨校歌斉唱
⑩閉会

5. アンケート集計結果

アンケート回収数 43名

〈 内訳 〉

Q 良かったプログラムはありますか

※複数回答あり

①	懇談会	25
②	じゃんけん大会	27
③	男声合唱団グリークラブによる演奏	15
④	その他（食事がおいしかった/校歌斉唱）	1

Q 感想を記入してください。

※：複数記述あり

※様々な国の留学生と交流ができて楽しかった／とても有意義なイベントだった
／新しい友達ができよかった

- ▲留学生を歓迎していることを感じ取ることができた
- ▲学部・学年の枠を超えて交流ができ、貴重な経験をした
- ▲有意義な交流ができて、来年は上級生として参加したい
- ▲参加したことにより、これからの生活が楽しみである
- ▲先生方や校友会・育友会の方々と話ができうれしかった
- ▲男性合唱団グリークラブの演奏が素晴らしかった
- ▼懇親会の時間がもう少しあったら、うれしかった

以 上

今後の会議・行事等日程について

令和8年

4月30日（木）

15:30 「校友会監査」〈場所：神田キャンパス内〉

* 令和7年度 事業報告・決算報告について

○出席者は、監査、総務企画部・財務部の担当副会長、部長のみ

5月22日（金）

19:00 「幹事会」〈場所：神田キャンパス内〉

* 令和7年度 事業報告・収支決算、監査報告について

* 令和8年度 事業計画・収支予算（案）について ほか

6月13日（土）

11:30 「代議員会」〈場所：神田キャンパス内〉

* 令和7年度 事業報告・収支決算、監査報告について

* 令和8年度 事業計画・収支予算（案）について ほか

○終了後に、「代議員懇親会」の開催を予定しています。

7月11日（土）

12:00 「校友会定時総会2026」〈場所：京王プラザホテル新宿〉

* 詳細は追ってご案内いたします。

以上